

巨大触手型クリーチャーに襲われた
クレア・レップ○フィールド

沢山の触手に拘束され 息つく暇もなく陵辱される
巨大なクリーチャーに丸呑みにされ
体内で何度も子種を産み付けられる

出産

絶望

触手陵辱→丸呑み→種付け→出産→絶望END

クレアレポート

～巨大クリーチャー丸呑み出産END～

丸呑み

巨大触手

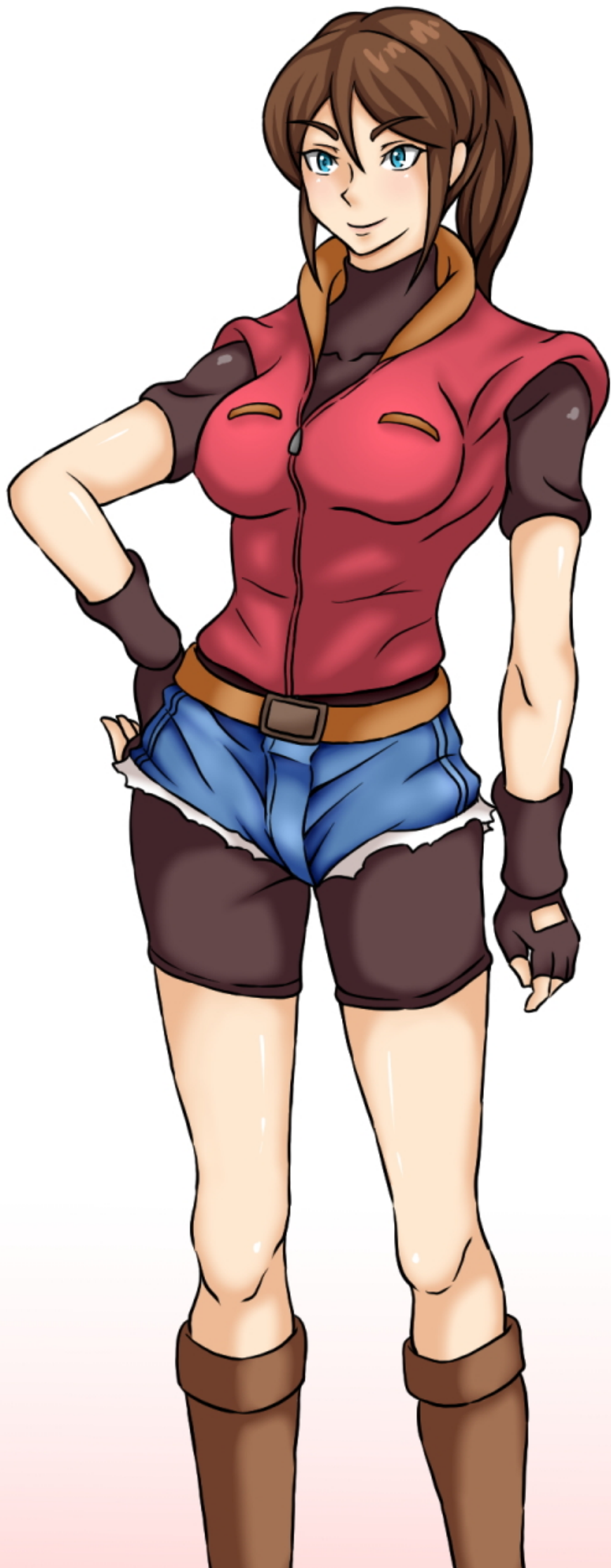
☆ドロドロ粘液ぶっかけ

☆完全着衣

台詞+短編SS付CG集

サークルみなみくも





街を徘徊するゾンビたちを何とか振り切り、
廃屋へと逃げ込んだクレア・レック・フィールド
しかし、そこに待ち構えていたのは、
巨大な触手型クリーチャーだった
クレアはあつという間にクリーチャーの触手に
脚を絡めとられてしまう

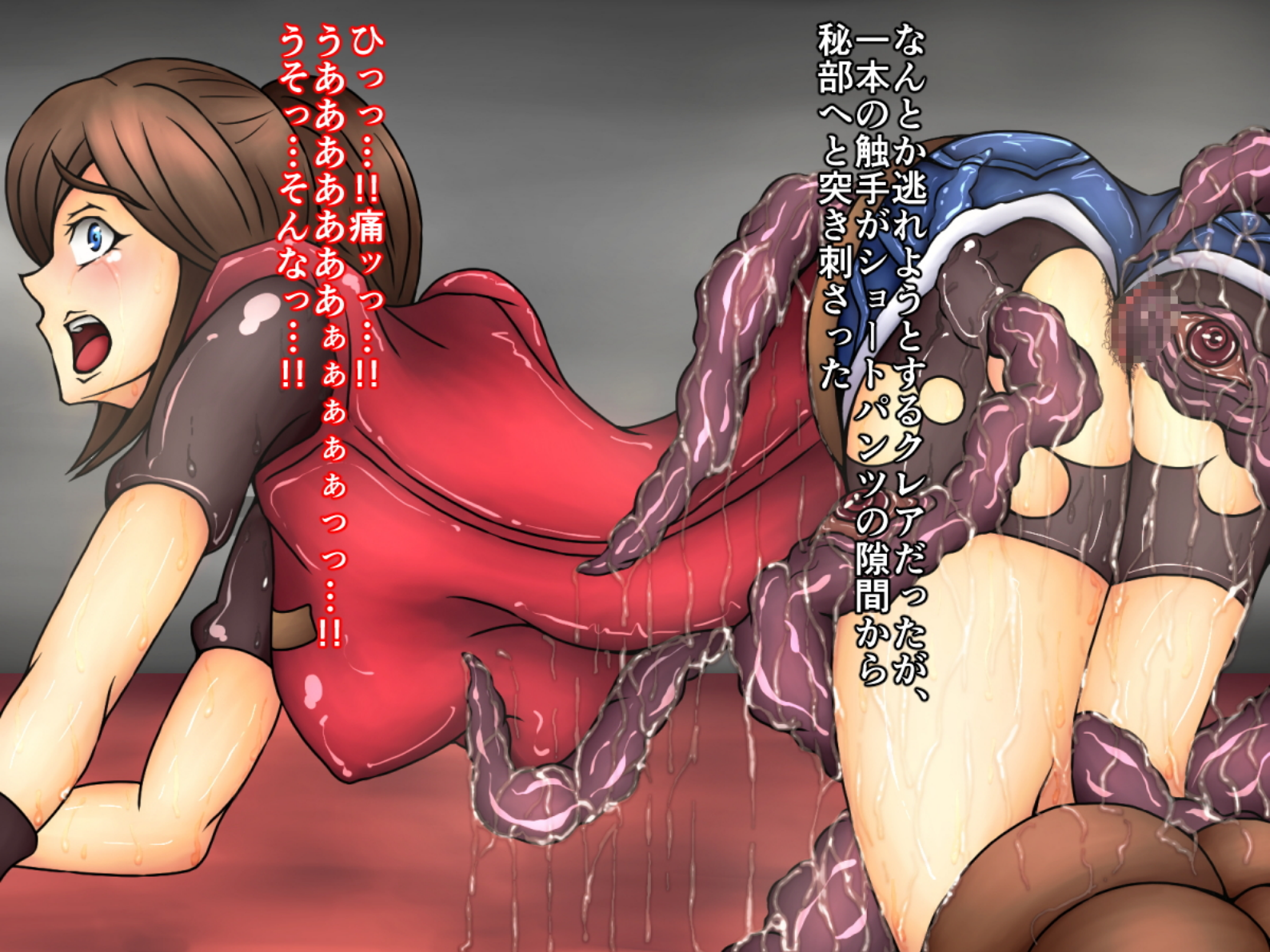
くっ…!! なんなのよこいつ!
なんて力なの…!!
離れなさいよっ!!



複数の触手が脚に絡みつき
ショーツパンツの隙間から入り込んでくる



いやあつ...!!
ぬるぬるして気持ち悪いっ...!!
変なところに入っってこないで...!!



ひっつ…!!痛ッつ…!!
うあああああ痛ッつ…!!
うそっ…そんなっ…!!

なんとか逃れようとするクレテだったが、
一本の触手がショートパンツの隙間から
秘部へと突き刺さった



突然の出来事に動揺を隠せないクレア
人間のモノとは比べ物にならないような醜悪な
形をした触手が何度もピストンを繰り返し
あつという間に射精へと至った

ううっ…ああっ…激しいっ…!!
やめっ…いやああああっ…!!
で…出てる…いやああああああツツツ…!!



はあ……うああ……
腔内に……出された……うう……

自らの種子を排出し切った触手が引き抜かれると
クレアの秘部は拡張され、ぽっかりと空洞になっている

膣内への射精を終えた触手たちだったが、
休む暇もなく、今度は肛門へと触手を伸ばしてくる
ショートパンツをずらし、無理矢理に挿入をされ
経験した事のない痛みにくレアは絶叫した

くうっ…離してえっ…あああつ…!!
いや…まさか…お尻なんて…痛いッ…いやあつ…!!
やめっ…うあああああ…あああつ…!!



クレアの肛門に挿入された触手は、一度膨張したかと思うと、一気にその欲望を吐き出した無理矢理に拡張された肛門はヒクヒクと痙攣していた

ひいっ…!! うあああ…!! いやあああああ…!!
うぐっ…く…苦し…!!
はあ…だめ…死んじやう…!!





膾と肛門を犯され、あまりの突然の出来事に困惑するクレアだったが、
なんとか触手たちから逃れようとする

しかし、いつのまにか巨大な触手が両足を呑み込もうとしていた
背後にはクリーチャーの巨大な本体が迫り、
複数の触手がクレアの体に巻きつき、触手の粘液が滴り落ちている

うう…：…どうにか…：逃げないと…：いや…：なんて力なの…
べとべととして…：気持ち悪い…：誰か…：助けて…：！

クリーチャーから伸びた細かな触手たちが、
ショートパンツの隙間から何本も入り込み、
細かな動きで何度も刺激を繰り返した
必死に我慢していたクレアだったが、遂に失禁してしまう

はあああっ……いやあっ……ああっ……服の中に入ってきてる……!!
あああああ……いやあ……だめええッ……それ以上されたら……!!
漏れちゃう……おしっこ漏れちゃう……!!



背後に迫っていった巨大な肉塊がクリーチャーの本体であり、その巨体を持ち上げると、ぱっくりと開いた空洞が、一気にクレアを頭から咥え込んだ。突然の出来事に瞬時に起こったのか理解できない。急に視界が覆われ、クリーチャーの異様な臭いが鼻を突く。体中をその粘液に侵食され、意識が朦朧とする。

…!?!…な…なんなのっ…!!
まさか…嘘でしょ…私…呑み込まれた…!?!
はあ…はあ…く…くるしい…!
なんて…臭い…なの…うえっ…うう…!!



なんとか脱出しようと、必死に体をくねらせ抵抗するクレアだったが、クリーチャーの巨大で分厚い肉塊の前では、到底太刀打ち出来るわけがなかった。繰り返し肉塊に圧迫され、体は脱力し、股間を湿らせる

うあ……ああああ……はあ……もう……だめ……
このまま……呑み込まれる……
ああ……出ちゃう……漏れちゃう……



遂にクレアは、クリーチャーの体内に完全に取り込まれてしまった
どろどろとした粘液が体中に絡みつき、巨大な肉壁に圧迫される
異様な空間に意識が朦朧としてしまう

股間部分には、この体内に生息しているクリーチャーなのか
巨大な蟲のような異形のクリーチャーが張り付いていた

はあ……はあ……そんな……うう……苦しい……
うう……何かが……いや……あそこに入ってる……!!
いやあ……気持ち悪い……このまま……どうなっっちゃうの……!!



クリーチャーに呑み込まれてから
更に数時間が経過していた
生暖かい粘液が体中を侵食し、
異様な臭いが染み付いている
肉壁の胎動により、更に恥ずかしい体勢にされるクレア
遂に本体と思しき巨大で醜悪な生殖器が挿入される
今までの触手の更に数倍もの太さをもった触手に
異常に拡張された秘部を貫かれています



あああああああああ
いやあっ…!! 太すぎるううう
もうだめえっ…!! おかしくなっ
お願いだから抜いてええっ…!!
ちやうっ…!!

はあ……はあ……
私……生きてる……助かったの……？

クリーチャーに気絶する程激しく犯されたクレアが意識を取り戻した。もはや用済みとなった苗床は、体内から排出されつつあった。この狂気から逃れる事が出来るという現実の板ばさみになる。化け物に犯されたという現実の板ばさみになる。体にはクリーチャーの異臭が染み付いており、異様な臭気を発していた。

安心したのも束の間、腹部に強烈な違和感を感じる
クレアの胎内では、クリーチャーの子供が急速に成長していた
受精は成功したのだ
何度も鼓動し脈打つと、あつという間に腹部が膨らみ、
巨大化し、行き場を失った幼体が股間から飛び出そうとしている
受け入れがたい現実に、彼女は正気を失いそうになる

ああっ…な…なんなのおっ…!!
うぐうっ…!! 痛ッッ…痛いつつ…!! 苦しいらっ…!!
まさか…妊娠…!! そんな…嘘でしょ…!!
いや…そんなの…そんなのいやあああああああッッ…!!





クリーチャーの幼体を産み落とすとしたクレアの秘部は、
人の頭が簡単に収まりそうな程に拡張されてしまった
胎内にはまだ幼体が何体も残っており、
急速な成長と出産を繰り返した
出産の回数を重ねるうちに、苦痛は徐々に
快感へと変わり、幼体を産み落とす度、絶頂に達した

あひい い い い つ つ つ …… !! 産まれる う う う つ つ つ …… !!
また産まれちゃう う う う う う う …… !!
あは あ つ …… !! 化け物の赤ちゃん出産してるのに …… !!
イク …… また イ つ つ ちゃう う う う …… !!
だめ え え え え え え …… !!

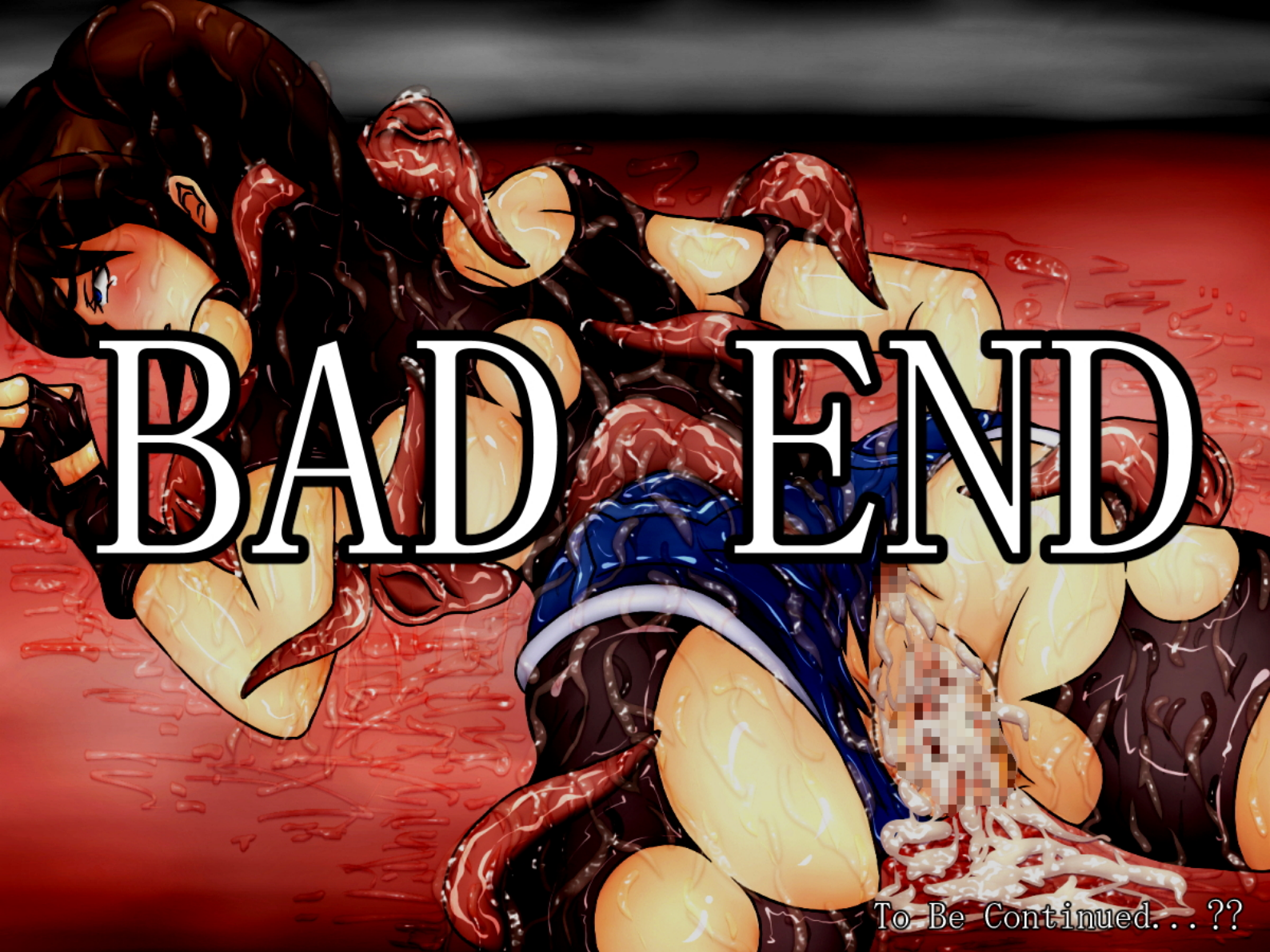


数え切れない程の幼体を産み落とすクレア
股間からは大量の粘液がドロドロと溢れ出ている
最初に出産したクリーチャーの本体は、
もはや数時間前に闇の中へと姿を消してしまった
残ったナメクジのようなクリーチャーたちは、
彼女の体中に纏わりつき、離れようとしな
あ……ああ……あ……ああ……
化け物の赤ちゃん……沢山産んじやった……
どうして……こんなことに……
もう……だめ……



クレアは完全に絶望し、立ち上がることも出来ず、
長い時間が経過した
このまま絶命してしまうのだろうか、
それとも、何とかこの場を離れる事が出来るだろうか
運よく、誰かが助けしてくれるのだろうか

二度目の夜が訪れた：
クリーチャーたちに支配された街が闇につつまれる
そして、彼女もまた闇へと呑み込まれていくのであった



BAD END

To Be Continued...??